

受験勉強はいつから、どのように始めたらよいか考える

積小為大。受験学年だけでなく、2年・3年かけ、『第一志望校合格』を目指そう！！

その第一歩が、1学期定期試験です

開倫塾

塾長 林明夫

Q：「積小為大（せきしょういだい）」とは何ですか。

A：「小さいことをコツコツ積み上げて、大を為す（だいをなす)」。つまり、「大きな志(こころざし)を為し遂げる（なすとげる）」ことをいいます。この「積小為大」ということばは、「二宮尊徳（二宮金次郎）」の代表的な教えです。

Q：この「積小為大」と、私たちの勉強は、どのような関係にあるのですか。

A：小学校、中学校、高校、大学、短期大学、専門学校、専修学校、大学院など、学校での勉強は、すべて、積み重ねです。コツコツと、一つ一つのことを積み重ね、しっかり・確実に、自分から進んで、主体的に学び続けることが大切です。そうして、初めて、「学んだことを自分のことばでいえる（表現・説明できる）」「深い理解」が得られるからです。

Q：「第一志望校合格」を目指す「受験勉強」にも、この「積小為大」は大切なのですか。

A：その通りです。



(1) 小学6年生、中学3年生、高校3年生などの「受験学年」の塾生の皆さんは、今年の秋から冬にかけて行われる「入学試験」まで、残り半年から1年間、「コツコツと、受験勉強を積み上げて、大を為す。第一志望校合格を為し遂げる」。

(2) 小学5年生、中学2年生、高校2年生の皆さんは、これから2年間、「コツコツと、勉強を積み上げて、大を為す。第一志望校合格を為し遂げる」。

(3) 小学4年生、中学1年生、高校1年生の皆さんは、これから3年間「コツコツと、勉強を積み上げて、大を為す。第一志望校合格を為し遂げる」。

Q：エー、入試1年前の小6・中3・高3だけではなく、入試2年前の小5・中2・高2や、入試3年前の小4・中1・高1も、「コツコツと、勉強を積み上げて大を為す。第一志望校合格を為し遂げる」ことが大事なのですか。

A：(1) 1年後、2年後、3年後のある時期に、塾生の皆様の「第一志望校」の「入試」があることは、ほぼ「決定・確定」しているからです。

(2) そうであるならば、「自分の未来は自分で切り開く」「自己責任（自分で行うことは自分で責任を取る）」「自助努力（自分の身は自分で助ける）」の精神で、1年後・2年後・3年後に行われる「第一志望校の入試合格」のために、今から行うべきことを考える。

(3)そして、「コツコツと、勉強を積み上げて、大を為す。第一志望校合格を為し遂げる」ことが求められるからです。

Q：わかりました。では、とりあえず、何をしたらよいのですか。「手順」を教えてください。

A：(1) まずは、「第一志望校」を決めましょう。開倫塾では、創業以来、自分の行きたい学校を「自分にとっての一流校」とよんでいます。自分の行きたい学校、つまり、「自分にとっての一流校」を「第一志望校」とすることをおすすめします。

(2) 「第一志望校」が決まったら、「第一志望校」に合格するのだと「決意」、「受験生としての自覚」をもって、自分から進んで勉強することです。

(3) その第一歩として、とりあえず、1学期の定期試験で、全教科 100点満点を目指し、「今日から」勉強に励みましょう。



Q：「定期試験で全教科 100 点満点を目指す勉強」が、「第一志望校合格」と関係があるのですか。

A：(1) 受験教科の試験内容には、受験 3 年前、2 年前の内容も出題されるからです。ですから、受験直前になって、受験 3 年前・2 年前・半年前の「復習」をしなくていいように、その学年で学ぶことは、「学校の教科書」「学校問題集」をスミからスミまでしっかり学んで、全部身に着ける。「定着」させる。「自分のことばでいえる (表現・説明できる)」ようにする。「深い理解」を目指すことをおすすめします。

(2) 推薦入試や特色選抜入試などで合格を目指す場合には、学校の成績が大きく影響します。全教科しっかり勉強し、定期試験で 100 点満点を取り、学校成績 (校内順位) を大幅に上げることをおすすめします。

(3) これに加えて、英語検定、漢字検定、数学・算数検定など、学年相応級以上の「検定試験」を、毎年受け続け、合格を目指すことも、「第一志望校合格」に役立ちますのでおすすめします。



Q：最後に一言どうぞ。

A：(1) 「第一志望校合格」のための「入試」の勉強はもちろん、すべての勉強に欠かせないのは、「読解力」を身に着けることです。書いてあることや、示されている内容を、正確に読み解けなければ、教科書や参考書、問題集は、理解できません、試験問題も試験時間内に解けないからです。

(2) この「読解力」を身に着けるのに一番役立つのが、「辞書」「新聞」「読書」「図書館」です。小学生も、中学生も、高校生も、そして、大学生、大学院生、さらには、社会人も、「辞書」「新聞」「読書」「図書館」に慣れ親しむことをおすすめします。、自分の生活の一部にして、最大活用することをおすすめします。

(3) [学び方を学ぶ]「効果の上がる学習方法」とは何かを学び続けること。自分なりの学び方を考え続け、チャレンジし続けることをおすすめします。



○今日からスタートすれば、定期試験で全教科 100 点満点が取れます。

○それではがんばって！

2025 年 4 月 11 日記